

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4605		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	澤野 大地		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 4		
講義室	1403	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門科目		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3-G〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP4-F〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP5-J〔創造的挑戦力・達成力〕 コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 DP8-M〔省察力〕 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 F1探究と論拠-30% G1状況把握-30% I2量的分析-20% J1継続的学修基盤-10% M1統合的・応用的学修-10%		
教員の実務経験	オリンピック3大会（2004年、2008年、2016年）、世界陸上7大会（2003年、2005年、2007年、2009年、2011年、2013年、2019年）に出場しました。その競技者としての経験を活かして、講義を行います。また日本オリンピック委員会理事、日本オリンピック委員会アスリート委員長として活動をしている中で、あらゆる競技の選手と関わってきた経験を活かして、講義を行います。（第3回）		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージと対応 3 発展期～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	学生が興味関心の高い分野を選択し、講読・調査・報告・議論などを行うことによって、研究を進める上での基礎知識、研究方法を学びます。ゼミナール I では、グループで課題を設定し、共同で研究を進めることで、互いに知識を修得していくことを目的とします。ここでは、学生自身が興味関心のある課題やそれに関わる種々の問題について、基礎的な理解を深め、それらについてプレゼンテーションを行う準備を整えます。授業形態は、演習により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 ■キーワード 研究・省察・反省的実践		

授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する研究計画の立案および実践 ■授業の目的 学習した内容を基に自身もしくはグループでの研究計画の立案を行い、研究計画に関する議論から適切な方法を選択することができることを目的とします。 ■授業のポイント 自身の競技パフォーマンス向上を追求するための体力トレーニング方法について研究を行います。	
総合到達目標	■競技力向上のために、様々な体力トレーニング方法について理解し、筋力または持久力向上を目的とした研究の進め方について選択すべき方法などを説明できる能力を修得する。 ・様々な体力トレーニングの研究方法について説明できる。（第1回～第5回） ・研究を実践し、検証できる。（第6回～第13回） ・研究した結果を競技力向上のために活用することができる。（第14回、第15回）	
成績評価方法	■プレゼンテーション（70%）G1 I2 J1 M1 （評価の観点）自身もしくはグループで発表を行い、その内容について評価します。（フィードバック方法）発表後に講評を行います。 ■授業参加度（30%）F1 J1 M1 （評価の観点）自身もしくはグループでの測定に対しての取り組み方など、総合的に評価します。	
履修条件	「体力トレーニング論」を履修している事。また「体力トレーニング論演習」を履修する事。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分） ガイダンスによって説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認しておく。
	2	①授業テーマ 研究とは何か ②授業概要 コーチング学研究法演習で展開された研究の意義や、その領域について再度確認し、自身およびグループでのゼミナールでの研究領域やその研究方法について検討する。 ③予習（120分） コーチング学研究法演習の研究の概要に関する授業資料を読み返し整理しておくこと。 ④復習（120分） 自身およびグループでのゼミナールにおける課題に対する適切な研究方法について検討しておく。
	3	①授業テーマ 文献研究① ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる。 担当教員の実務経験を踏まえて、トップアスリートを対象とした先行研究などを紹介しながら、講義を行います。 ③予習（120分） 自身もしくはグループの課題に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習（120分） 自身の選んだ文献の研究手法や結果について、自身もしくはグループの課題に即したものかを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	4	①授業テーマ 文献研究② ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる。 ③予習（120分） 自身もしくはグループの課題に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習（120分） 自身の選んだ文献の研究手法や結果について、自身もしくはグループの課題に即したものかを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	5	①授業テーマ 文献研究③ ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる。 ③予習（120分） 自身もしくはグループの課題に即した文献について収集し、情報を整理しておく。

	④復習（120分） 自身の選んだ文献の研究手法や結果について、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
6	①授業テーマ 研究の実践と検証① ②授業概要 自身もしくはグループで研究を実践し検証する。ここでは測定等、様々な方法が想定される。 ③予習（120分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（120分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。
7	①授業テーマ 研究の実践と検証② ②授業概要 自身もしくはグループで研究を実践し検証する。ここでは測定等、様々な方法が想定される。 ③予習（120分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（120分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。
8	①授業テーマ 研究の実践と検証③ ②授業概要 自身もしくはグループで研究を実践し検証する。ここでは測定等、様々な方法が想定される。 ③予習（120分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（120分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。
9	①授業テーマ 研究の実践と検証④ ②授業概要 自身もしくはグループで研究を実践し検証する。ここでは測定等、様々な方法が想定される。 ③予習（120分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（120分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。
10	①授業テーマ 研究の実践と検証⑤ ②授業概要 自身もしくはグループで研究を実践し検証する。ここでは測定等、様々な方法が想定される。 ③予習（120分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（120分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。
11	①授業テーマ 研究の実践と検証⑥ ②授業概要 自身もしくはグループで研究を実践し検証する。ここでは測定等、様々な方法が想定される。 ③予習（120分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（120分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。
12	①授業テーマ 研究の実践と検証⑦ ②授業概要 自身もしくはグループで研究を実践し検証する。ここでは測定等、様々な方法が想定される。 ③予習（120分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（120分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。
13	①授業テーマ 実践された研究結果の整理 ②授業概要 実践した測定についての研究結果を整理し、まとめる。 ③予習（120分） 研究で得られた結果を整理し、まとめるために必要な情報の選出を行っておく。 ④復習（120分） 結果の整理に必要な情報の収集を行っておく。
14	①授業テーマ 実践された研究結果の発表 ②授業概要 研究結果を自身もしくはグループごとに発表する。発表後、講評を行う。 ③予習（120分） 研究で得られた結果を整理し、発表に必要な資料の作成を行っておく。 ④復習（120分） 結果の整理に必要な情報の収集を行っておく。
15	①授業テーマ ゼミナールⅠのまとめ ②授業概要 ゼミナールⅠで行われた授業内容を振り返り、ゼミナールⅡに向けて必要な情報を整理する。 ③予習（120分） 自身がゼミナール開始から収集、精読してきた文献に関する情報を整理しておく。 ④復習（120分） ゼミナールⅡに向けて必要な文献の整理を行っておく。
関連科目	コーチング学研究法演習（SSCS2317）、体カトレーニング論（SSCS2329）、体カトレーニング論演習（SSCS3620）
教科書	特に指定はしません。
参考書・参考URL	授業内で紹介します。

連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 月曜5限 それ以外の時間については、メールにて事前にアポイントをとれば研究室で対応します。
研究比率	

